

# 施策評価調書(1)

評価対象年度 29年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	3 活気ある商業の振興
施策関係課	(経済部)産業振興課/(都市計画部)都市計画課

## ●施策の基本方針(目標)

人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと、地域に密着した商店街の魅力づくりを支援し、商業の振興を図ります。

## ●目標指標

指標	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)	単位	%	指標の種別	成果
指標①	目標値	現状値を上回る(平成32年度)	現状値	59.1(平成27年度)	達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値	59.9	62.5			
	名称	従業者数(卸売業、小売業)		単位	人	指標の種別
指標②	目標値	全国における伸び率を上回る(平成32年度)	現状値	26,913(平成26年度)	達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値	26,913(平成26年度)	30,842(平成28年度)			
	名称	年間商品販売額		単位	百万円	指標の種別
指標③	目標値	全国における伸び率を上回る(平成32年度)	現状値	1,051,832(平成26年度)	達成状況	
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値	1,051,832(平成26年度)	1,122,968(平成28年度)			
	名称			単位		指標の種別
指標④	目標値	現状値		達成状況		
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値					
	名称			単位		指標の種別
指標⑤	目標値	現状値		達成状況		
	年度	28年度末時点の値	29年度末時点の値	30年度末時点の値	31年度末時点の値	32年度(目標年度)
	実績値					

\*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位:千円)	28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	31年度計画額	32年度計画額
事業費		49,712	53,225	80,843	80,843	
概算人件費		17,630	17,550	14,615	14,615	
総事業費		67,342	70,775	95,458	95,458	

\*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策① 55	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	A			55.0	

## 施策評価調書(2)

評価対象年度	29年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① にぎわいある商業活動の振興									
事業コード	事業名称	担当課	28年度 事業費 (決算額)	29年度 事業費 (決算額)	30年度 事業費 (予算額)	31年度 事業費 (計画額)	32年度 事業費 (計画額)	29年度 の 総評価	30年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
33100104	商店街活性化事業	経済部	43,617	47,225	79,000	79,000		54	現状維持 で実施
		産業振興課	9,430	8,970	9,085	9,085			
33100202	消費拡大事業	経済部	1,343	1,302	1,843	1,843		54	効率化して 実施
		産業振興課	3,280	3,120	3,160	3,160			
33100303	地域リノベーション推進 事業	都市計画部	4,752	4,698	0	0		58	効率化して 実施
		都市計画課	4,920	5,460	2,370	2,370			

実施計画事業評価調査

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	33100104	事業名称	商店街活性化事業	事業区分	主要な事業 政策宣言18・総合戦略B
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	2037	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	60	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 3 活気ある商業の振興 - ① にぎわいある商業活動の振興				
根拠法令等	川口市商店街近代化事業費補助金交付要綱、川口市照明施設維持管理事業補助金交付要綱、川口市空き店舗活用事業補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	商店街振興組合、事業協同組合、任意商店街、地区連合商店会、商工会議所、商工会、市内に住民登録のある個人、市内に法人登記のある法人	同左及び市内商店街の利用者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	川口市の商業環境は、消費者の生活様式の変化、消費者ニーズの多様化により大変厳しい状況となっている。こうした中、消費者ニーズを的確に捉えた人が集う商業環境づくりが緊急の課題になっているため、地域の特性を活かし人が集える魅力的な商店街活動を支援し、活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等が実施するソフト事業・ハード事業への補助</li> <li>・空き店舗を活用し事業を始める際の改修費への補助</li> <li>・商店街等が所有する街路灯等の電気料への補助</li> <li>・商店街が実施する美化促進に係る費用への補助 等</li> </ul>		
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等が実施するソフト事業に対して、補助対象経費の30%(一部50%)を補助した。</li> <li>・商店街所有の街路灯LED化改修事業に対して、補助対象経費の50%を補助した。等</li> </ul>	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	各種イベントの開催や街路灯のLED化などにより、地域住民との交流や商店街のPRや利便性の向上が図られた。			
		商店街コミュニティ活動事業補助金交付件数	49	件
		商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金	3	件
		商店改修事業補助金交付件数	23	件

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	商店街コミュニティ活動事業補助金交付件数	指標・目標値の説明(算定式)	商店街が実施したイベントや販促事業を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定。		
	単位	件	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	49	未達成	49	未達成	
指標②	名称	商店街コミュニティ関連施設設置事業補助金交付件数	指標・目標値の説明(算定式)	年間補助事業件数を過去の実績、商店街へのアンケート結果等から考慮し、決定。		
	単位	件	指標の種別	結果		
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実績値・達成状況	3	達成	3	達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	04細々目	商店街活性化事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		49,987		76,793		79,000		79,000		
決算額(B)		43,617		47,225						
財源	特定財源	6,494		4,087		12,250				
	一般財源	37,123		43,138		66,750				
概算人件費(C)		9,430		8,970		9,085		9,085		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.15	0.00	1.15	0.00	1.15	0.00	1.15	0.00
総事業費(A又はB+C)		53,047		56,195		88,085		88,085		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
54 /60	川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会との連携を図りながら、事業者や消費者のニーズ及び商店街を取り巻く環境の変化を踏まえ、より効果的な支援方法も含め、検討して参りたい。	<table border="1"> <tr> <td>30年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>31年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>32年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	30年度	現状維持で実施	31年度	現状維持で実施	32年度	現状維持で実施
30年度	現状維持で実施							
31年度	現状維持で実施							
32年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調査

評価対象年度 29年度

事業コード	33100202	事業名称	消費拡大事業	事業区分	主要な事業 政策宣言7
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	2037	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	III 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 3 活気ある商業の振興 - ① にぎわいある商業活動の振興
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内の消費者及び商店事業者	市内の商店事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	「お買い物は 私の街で 川口で」をキャッチコピーに、市民に対して川口市の商業についてアピールすることにより、市内消費活動を促し、市内商業の活性化を図る。	・「お買い物は 私の街で 川口で」のキャッチコピーを記載したフラッグや消費啓発グッズ(うちわ・メモ帳)を作成する。 ・商店街の催し情報を掲載したポスターを作成する。	
29年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・市内商店街に消費啓発フラッグを配布し、商店街街路灯に掲出した。 ・市役所窓口や市内各種イベントにて、消費啓発グッズを配布した。 ・ポスターを市内施設や市内掲示板、商店街等に掲示した。	項目	実績
		消費拡大ポスター印刷枚数	8,040
事業の成果【定性的評価】	市内消費の喚起と商店街イベントの周知ができ、商店街のPRが図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	消費拡大ポスター印刷枚数			指標・目標値の説明(算定式)	市内掲示板や商店街等に掲示する年間印刷枚数(年4回、季節毎に約2000枚)。					
	単位	枚	指標の種別	活動							
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況	10,050		達成		8,040		達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	03細々目	消費拡大事業				
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		32年度	
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		2,355		1,852		1,843		1,843			
決算額(B)		1,343		1,302							
財源	特定財源	0		0		0					
	一般財源	1,343		1,302		1,843					
概算人件費(C)	3,280		3,120		3,160		3,160		3,160		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	
総事業費(A又はB+C)	4,623		4,422		5,003		5,003		5,003		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	川口商工会議所・鳩ヶ谷商工会・川口市商店街連合会と連携を図りながら、消費者に対して有効的な事業となるよう実施していく。	30年度 効率化して実施 31年度 現状維持で実施 32年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	29年度
--------	------

事業コード	33100303	事業名称	地域リノベーション推進事業	事業区分	主要な事業 総合戦略B
担当	都市計画部	都市計画課	問い合わせ先	#33-5505	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” - 3 活気ある商業の振興 - ① にぎわいある商業活動の振興
根拠法令等	川口市まち・ひと・しごと創生総合戦略

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	西川口並木商店会等	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略にある、「地域の商工業活性化に向けた取組みの強化」の一つとして、地域活性化に向けた人材の育成を図る。	商店街関係者や地域のまちづくりに強い関心がある方等に対し、商店街活性化の専門家による人材育成プログラムを実施し、商店街活性化手法などを体得してもらい、人材の育成を図っていく。プログラム終了後は、育成された人材を中心に、引き続き新たな人材の育成と商業活性化を通じた持続可能なまちづくりを推進する。		
29年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・西川口並木商店会を対象として、ワークショップ形式の会議を開催 ・持続可能な資金づくり(経済再構築)を目指すため、集客に向けたプロモーション事業(イベント開催等)を実施 ・商店街活性化任意組織のNPO法人化の検討	項目	実績	単位
事業の成果【定性的評価】	商店街関係者や地域のまちづくりに強い関心がある方等は、専門家による人材育成プログラムを通じて、商店街活性化に向けたアイデアやノウハウなどを体得し、人材の育成が図られた。	商店街活性化に向けた会議(ワークショップ)	17	回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)	商店街活性化に向けた地域経営のプロを人材育成するため、目標値の設定はない。				
	単位	指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	08款	04項	01目	003細目	05細々目	地域リノベーション推進事業			
年度	27年度	28年度		29年度		30年度		31年度		
予算現額(A) ※H30以降は当初予算額		4,826		4,810		-		-		
決算額(B)		4,752		4,698						
財源	特定財源	4,752		0		0				
	一般財源	0		4,698		-				
概算人件費(C)		4,920		5,460		2,370		2,370		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.70	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費(A又はB+C)		9,672		10,158		2,370		2,370		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は当初予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	まち・ひと・しごと創生総合戦略にある、「地域の商工業活性化に向けた取組みの強化」の一つとして、人材育成プログラムを3年間実施してきた。今後は、プログラムで育成された人材を中心に、引き続き、地域活性化に向けた人材の育成を図ると共に、商業活性化を通じた持続可能なまちづくりを推進していく。	30年度	効率化して実施
		31年度	効率化して実施
		32年度	完了